

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
22321	公衆便所維持管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	2
53133	南クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	3
53133	西クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートB	4
53133	横谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートB	6
53133	大西谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	8
53133	中島リサイクルセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートB	9

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	施設整備担当	連絡先	948-6901				
	部等長名	中島 郁	課等長名	柳本 貴志	リーダー名	副主幹	岡田 真規子	担当者名	主査	安倍 健太郎	技師	上田 純
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	施設整備担当	連絡先	948-6901				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	リーダー名	副主幹	岡田 真規子	担当者名	主査	安倍 健太郎	技師	上田 純

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	22321	公衆便所維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	良好な衛生環境の維持			主な取り組み	-	
主な取り組み	生活衛生の向上		市長公約	-		
取り組みの柱	生活衛生施設の衛生水準の維持・向上のため、施設への立入検査や、入浴施設に対するレジオネラ菌行政検査などを行い、適正な衛生管理の徹底を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業の目的(どのような状態にするか)	当該が管理する市内14箇所に設置された公衆便所を衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	地元要望等によって設置。					
対象・事業内容(誰に対して,何をするのか)	<対象> ・市内14箇所の公衆便所 <事業内容> ・清掃業者等に委託料を支出し、日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務を実施する。また、破損や故障時には緊急修繕工事を実施する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 2	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費	R3予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				9,341			8,220	8,642		
決算額(B)(単位:千円)				7,621			7,471	8,642		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0	0		
	県支出金			0			0	0		
	市債			0			0	0		
	その他			20			14	0		
	一般財源			7,601			7,457	8,642		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料4,673 需用費1,435 工事請負費684	委託料4,710 需用費2,236 工事請負費960		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			1,720			749			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施 ・破損・故障時の緊急修繕工事の実施					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、公衆便所を衛生的かつ健全に保つことができ、市民の利便性を確保できている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・各施設ともに経年劣化が進んでいるため、機器ごと状態を把握し、計画的に補修・修繕等を行う必要がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	・機器ごとの経年劣化の状態やその進み具合などの特徴を把握し、点検や取替による保守管理を行う。		
R4年度の目標	・衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上に努める。 ・上記を実施することで公衆便所14箇所すべて使用不可日数0日を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施 ・破損・故障時の緊急修繕工事の実施		

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	南クリーンセンター維持管理担当	連絡先	971-8862				
	部等長名	中島 郁	課等長名	柳本 貴志	リーダー名	主査	尾家 慶行	担当者名	主任	高橋 貢	技師	宮本 佑司
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	南クリーンセンター維持管理担当	連絡先	971-8862				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	リーダー名	主任	尾家 慶行	担当者名	主任	高橋 貢	技師	宮本 佑司

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53133	南クリーンセンター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する			重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	クリーンセンターや埋立センターなどのごみ処理施設について、適切な更新・維持管理を行います。			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である南クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	南クリーンセンターの供用開始による。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<対象> ・南クリーンセンターの各施設 <事業内容> ・施設の運転管理業務は「在原環境プラント株式会社西日本支店」に委託。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ」に分類されるものを焼却・破砕処理する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用して発電し、施設内で使用するとともに、余剰電力を売却する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用して蒸気の一部を、隣接する「アクアバレット」のプールの水温管理等に利用する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条			
始期・終期(年度)	平成	6	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R3予算措置時期		当初
									R3	R4	
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						1,100,052		1,146,637			1,169,072
決算額(B)(単位:千円)						1,061,727		1,099,536			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0			0	
	県支出金				0		0			0	
	市債				0		0			0	
	その他				156,290		287,534			680,416	
一般財源				905,437		812,002			488,656		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料687,865 工事請負費265,950 需用費142,260		委託料726,580 工事請負費264,406 需用費167,850			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減あり					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		38,325		47,101			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び、適正な施設の運営、維持ができていたため。			
事業の公共性	必要性	1 2 3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・建物や設備機器等の経年劣化への対応		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		・経年劣化した建物や設備機器等の更新工事の実施	
R4年度の目標	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持 ・上記を実施することで環境法令等基準超過回数を0で維持する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・一般廃棄物の適正処理に努め、施設の適正な運営、維持を行う。	

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	西クリーンセンター維持管理担当	連絡先	953-1153
	部等長名	中島 郁	課等長名	柳本 貴志	リダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	西クリーンセンター維持管理担当	連絡先	953-1153
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	リダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53133	西クリーンセンター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する			重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約				
取り組みの柱	クリーンセンターや埋立センターなどのごみ処理施設について、適切な更新・維持管理を行います。						
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律,松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例,松山市一般廃棄物処理基本計画						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき,市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である西クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	西クリーンセンターの供用開始による。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<対象> ・西クリーンセンターの各施設 <事業内容> ・施設の運転管理及び維持管理は,「松山環境テクノロジー株式会社」に委託(DBO方式)。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち,本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ(可燃性)」に分類されるものを焼却・破砕し処理する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条			
始期・終期(年度)	平成	25	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						900,940		900,909			900,915
決算額(B)(単位:千円)						882,839		880,333			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0		0			0
	県支出金					0		0			0
	市債					0		0			0
	その他					548,336		541,641			249,348
	一般財源					334,503		338,692			651,567
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料879,686 需用費264 職員手当196		委託料900,020 需用費381 職員手当299			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			18,101		20,576			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営,維持					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営,維持ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により,一般廃棄物の適正な処理及び,適正な施設の運営,維持ができていたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		・特になし	
R4年度の目標	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営,維持 ・上記を実施することで環境法令等基準超過回数を0で維持する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・一般廃棄物の適正処理に努め,施設の適正な運営,維持を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	ごみ焼却量	ton	目標値	88,659	86,771	85,350	83,999	82,919	目標値	72,127	
			実績値	89,115	87,047	87,135			達成年度	R12年度	
		%	達成度	99	100	98					
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	松山市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画による。				
	本指標の設定理由	焼却施設を適切に運営したことを示すとともに、ごみ焼却量の減少は、ごみ処理基本計画に沿うことを示す指標となるため。									
		目標値							目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	目標値							目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	環境法令等基準値超過回数	回	目標値	-	-	-	0	0	目標値	0	
			実績値	0	0	0			達成年度	R12年度	
		%	達成度	-	-	-					
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良とする)				最終目標値の設定の考え方	周辺環境への悪影響を防止するため、事業最終年度までこの目標値を継続して設定する。				
	本指標の設定理由	適切に運営管理を行い、公害防止を示す指標となるため。基準値を超過した回数が「0」を良とする。									
		目標値							目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	目標値							目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に焼却処理ができ、事業系一般廃棄物量の増加はあったが、概ね達成できた。									
	成果指標	適切にごみ処理焼却施設を運転することで、公害を防止し、周辺環境を保全することができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	横谷埋立センター-横谷廃棄物センター-維持管理課	連絡先	977-5235		
	部等長名	中島 郁	課等長名	柳本 貴志	リーダー名	副主幹	矢野 功二	担当者名	主任	近藤 瞬
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	横谷埋立センター-横谷廃棄物センター-維持管理課	連絡先	977-5235		
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	リーダー名	副主幹	矢野 功二	担当者名	主任	田中 長彦

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	53133	横谷埋立センター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する			重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	542	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります		
取り組みの柱	クリーンセンターや埋立センターなどのごみ処理施設について、適切な更新・維持管理を行います。				環境モデル都市としてスマートシティ化やごみ減量・リサイクルを進めます。また、アーバンデザインセンターの活動を充実し、総合的なまちのデザインを形成するなど、美しく快適な都市空間を創造します。		
総合戦略		基本目標	-	取組み	-		
		政策	-				
		施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律,松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例,松山市一般廃棄物処理基本計画						
事業の目的 (どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である横谷埋立センター等の運営管理及び維持管理を行う。						
背景 (どのような経緯で開始したか)	横谷埋立センターの供用開始による。						
対象・事業内容 (誰に対して,何をやるのか)	<対象> ・横谷埋立センター及び横谷廃棄物センターの各施設 <事業内容> ・施設の運転管理業務は「水ingAM株式会社四国営業所」に委託。 ・家庭から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと、クリーンセンターから発生した焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。 ・浸出水に含まれる塩類を消毒剤(エコ次亜)としてリサイクル。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条			
始期・終期(年度)	平成	15	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				539,760		525,785		560,818		
決算額(B)(単位:千円)				488,193		472,177				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金		0		0		0			
	県支出金		0		0		0			
	市債		0		0		0			
	その他		2,958		7,942		685			
一般財源		485,235		464,235		560,133				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料295,322 需用費120,571 工事請負費52,331		委託料343,567 需用費140,159 工事請負費47,153		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		51,567		53,608		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入された埋立ごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。		
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び、適正な施設の運営、維持ができていたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		・特になし	
R4年度の目標	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持 ・上記を実施することで環境法令等基準超過回数を0で維持する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・一般廃棄物の適正処理に努め、施設の適正な運営、維持を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	エコ次亜生成量	m3	目標値	-	-	-	5,000	5,000	目標値	5,000	
			実績値	5,605	5,414	5,528			達成年度		
			% 達成度	-	-	-					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	エコ次亜生成量は降雨量に左右されるので、降雨量が極端に低い年度は適用できないが、塩類のリサイクル量を維持するため事業最終年度までの目標値を継続して設定する。ただし、エコ次亜の品質等を変更するときは、目標値の見直しが必要である。				
	本指標の設定理由	計画的な定期保守点検を除いて、水処理施設を長期休止させることなく適切に運転したことを示すとともに、塩類のリサイクル量を示す指標となるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	漫出水貯留池の水位11.5 m 超過回数	回	目標値	-	-	-	0	0	目標値	0	
			実績値	0	0	0			達成年度		
			% 達成度	-	-	-					
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	未処理水の流出による周辺環境への悪影響を防止するため、現在達成中の目標値を事業最終年度まで継続して設定する。				
	本指標の設定理由	適切に水処理を行い、未処理水を流出させていないことを示す指標となるため。貯留池の保持水位 11.5 mを超過した回数が「0」を良とする。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に水処理ができ、一定量以上のエコ次亜を生成して塩類をリサイクルすることができた。									
	成果指標	安定的に水処理施設を運転することで、未処理水を流出させることなく、周辺環境を保全することができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	大西谷埋立センター維持管理担当	連絡先	977-0929
	部等長名	中島 郁	課等長名	柳本 貴志	リダー名	副主幹	担当者名	主任 西村 英治
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	大西谷埋立センター維持管理担当	連絡先	977-0929
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	リダー名	副主幹	担当者名	主任 西村 英治

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53133	大西谷埋立センター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する			重点プロジェクト	-	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	クリーンセンターや埋立センターなどのごみ処理施設について、適切な更新・維持管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律,松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例,松山市一般廃棄物処理基本計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき,市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である大西谷埋立センターの運営管理及び維持管理を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年の合併により北条市から移管したことによる。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<対象> 大西谷埋立センターの各施設 <事業内容> ・施設の運転管理業務は「株式会社日本管財環境サービス」に委託。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち,本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと,クリーンセンターで発生する焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条		
始期・終期(年度)	平成 5 ~ 令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	R2年度		R3年度		R4年度	
				衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R3予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)					63,382		69,925		70,802
決算額(B)(単位:千円)					59,919		65,725		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳				国支出金	0		0		0
				県支出金	0		0		0
				市債	0		0		0
				その他	282		234		50
			一般財源	59,637		65,491		70,752	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算					工事請負費32,109 委託料25,040 需用費7,353		工事請負費33,000 委託料29,272 需用費7,375		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		3,463		4,200		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営,維持					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入された埋立ごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営,維持ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により,一般廃棄物の適正な処理及び,適正な施設の運営,維持ができていたため。			
事業の公共性	必要性	1 2:日常生活に不可欠(必需) 3:どちらにも該当しない	公益性	1 2:より多くの市民に提供(共同型) 3:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	施設の経年劣化への対応			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		
R4年度の目標	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営,維持管理 ・経年劣化した水処理設備機器の点検・更新 ・上記を実施することで環境法令等基準超過回数を0で維持する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		一般廃棄物の適正処理に努め,施設の適正な運営,維持を行う。

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	中島リサイクルセンター維持管理担当	連絡先	997-5911		
	部等長名	中島 郁	課等長名	柳本 貴志	リーダー名	主査	渡部 篤	担当者名	主任	濱本 幸喜
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	中島リサイクルセンター維持管理担当	連絡先	997-5911		
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	リーダー名	主査	渡部 篤	担当者名	主任	井上 慶

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53133	中島リサイクルセンター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する			重点プロジェクト	-	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	クリーンセンターや埋立センターなどのごみ処理施設について、適切な更新・維持管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律,松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例,松山市一般廃棄物処理基本計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき,市民等から排出されたごみの再資源化等を行う施設である,中島リサイクルセンターの運営管理及び施設の維持管理を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年の合併により,中島町から移管したことによる。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<対象> ・中島リサイクルセンター <事業内容> ・中島地域の家庭等から発生した「缶・ビン類」「プラ・ペット類」「紙類」等の一般廃棄物を受け入れ,選別・圧縮・梱包等により再資源化を図る。 ・中島地域の家庭等から発生した「可燃ごみ」「粗大ごみ」「埋立ごみ」「水銀ごみ」等を一時保管する。					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条		
始期・終期(年度)	平成 16 ~ 令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R3 予算措置時期	当初
									R2年度	R3年度
現計予算額(A)(単位:千円)						16,940		16,079		19,315
決算額(B)(単位:千円)						14,789		12,784		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0		0		0
	県支出金					0		0		0
	市債					0		0		0
	その他					3,224		3,589		2,558
	一般財源					11,565		9,195		16,757
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料6,711 工事請負費2,751 需用費2,540		委託料8,983 工事請負費6,186 需用費3,451		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			2,151		3,295		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・一般廃棄物の適正処理(再資源化) ・適正な施設の運営,維持					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入された資源ごみ等の適正な保管及び搬出処理をすることができた。適正な施設の運営,維持ができた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により,適正な資源の有効活用(再資源化)及び,施設の運営,維持ができていたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	・特になし		
R4年度の目標	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営,維持管理を実施することで再資源化を推進する		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理に努め,施設の適正な運営,維持を行う。(紙類,金属類,プラ類の再資源化など)		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	中島リサイクルセンターでの資源化量	ton	目標値	—	—	—	1,122	1,402	目標値	3,362	
			実績値	286	556	842			達成年度	R12年度	
		%	達成度	—	—	—					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		・過去3年間の平均値(280t/年)から設定 ・松山市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の目標達成年度に準ずる			
	本指標の設定理由	資源の有効利用を示す指標であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	中島の資源化率	%	目標値	—	—	21	21	22	目標値	26	
			実績値	27	27	29			達成年度	R12年度	
		%	達成度	—	—	138					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		松山市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の目標に準ずる			
	本指標の設定理由	再資源化の推進状況を示す指標であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	適切に処理・維持管理を行ったことで一定量再資源化を達成できている。									
	成果指標	一般廃棄物の適正処理によって、目標に達する資源化率を維持できている。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											